

論文タイトル (MSゴシック、20pt)

—副題— (MSゴシック、16pt)

(2行空き)

(赤字部分は注記です。確認後、文字列を削除してください。)

氏名 (所属) (MSゴシック、16pt)

(1行空き)

要旨: (MSゴシック、12.5pt)

要旨は300字程度。要旨は本文同様、MS明朝、12.5pt、行間隔22.65ptで作成してください。なお、採択後に英語要旨を提出していただきます。提出の際は、執筆者の責任で必ずネイティブチェックを行ってください。

キーワード: 3~6語 (MS明朝、12.5pt)

(節タイトル上1行空き)

1 節タイトル (MSゴシック、16pt)

論文の分量は、「研究論文」「社会実装論文」ともに10~15ページです。本フォーマットを使用した場合は、レイアウト(本文MS明朝、12.5pt、行間隔22.65pt。1ページは、34文字×30行)は設定済みです。変更はしないでください。

数字は、「第一に」「…の一つ」などの慣用的なものを除き、原則、半角のアラビア数字を、アルファベットはすべて半角文字を使用してください。

半角カタカナや半角かぎかっこは使用しないでください。

句読点は「、」「。」を使用します。

(小節タイトル上1行空き)

1.1 小節タイトル (MSゴシック、12.5pt)

節タイトルの直後に小節タイトルが来る場合は、小節タイトル上の1行空きは不要です¹。

1.1.1 小々節タイトル (MSゴシック、12.5pt)

小々節以下を立てる場合は、小節本文との間に空行は入れずに、1字下げとしてください。

例文を示す場合は以下の書式を用いてください。前後の空行は不要です。

- (1) 例文の出し方は、このようにお願いします。左インデントは2字下げとしてください。例文番号は、一桁の場合は全角数字を使用してください。

¹ 脚注本文は10ptで作成してください。

- (10) 例文の出し方は、このようにお願いします。例文番号は、二桁以上の場合は小文字を使用してください。
- (11) a. 例文の出し方は、このようにお願いします。同じ例文番号のなかに下位レベルを作る場合は「a.、b.…」を使用してください。
- b. 下位レベル2つ目以降の書式です。インデント等は設定済みです。コピーして使ってください。

注は脚注とします。

図表内の文字は、9pt以上としてください。キャプションは、MSゴシック、12.5pt、中央揃えとし、表の場合は上に、図は下に付けてください。

表1 高等学校国語科における科目再編

	平成11年告示	平成21年告示	平成30年告示
選択必修履修科目	国語総合 (4単位) 国語表現Ⅰ (2単位)		
共通必修履修科目		国語総合 (4単位)	現代の国語 (2単位) 言語文化 (2単位)
選択科目	国語表現Ⅱ (2単位) 現代文 (4単位) 古典講読 (2単位) 古典 (4単位)	国語表現 (3単位) 現代文A (2単位) 現代文B (4単位) 古典A (2単位) 古典B (4単位)	論理国語 (4単位) 文学国語 (4単位) 国語表現 (4単位) 古典探求 (4単位)

図については、word以外のアプリケーションを使用して作成したものも可としますが、元のファイルの提出を求める場合があります。

2 節タイトル (MSゴシック、16pt)

参考文献には、「執筆者名、発表年、論文名、編者名、書名、巻号、掲載ページ、発行所」を記載してください。インデントは、2行目以降2字下げです。書式の詳細は、参考文献欄を参照してください。文献は言語ごとに分け、和文文献、欧文文献、その他の順に配列します。同一言語内での配列は、和文文献は五十音順、欧文文献はアルファベット順、韓文文献はカナダ順 (가나다순) など、当該言語における慣習に基づいて作成してください。

(参考文献前1行空き)

参考文献 (MSゴシック、10pt)

米田猛 (2018) 『「言語文化」の学習指導考究』 溪水社

塚田泰彦 (2000) 「読みの教育における語彙意味論的方法の研究」 筑波大学博士 (教育学) 学位論文

森山卓郎 (2021) 「言語習熟論あるいは社会的言語習得論—接続表現を例に一」 『日本語学』 31-13、pp. 46-55、明治書院

森山卓郎・矢澤真人・安部朋世 (2011) 「国語科の学校文法における「品詞」について」 『京都教育大学紀要』 118、pp. 91-106、京都教育大学

矢澤真人 (2010) 「国語教育の文法と日本語教育の文法」 砂川有里子・加納千恵子・一二三朋子・小野正樹 (編) 『日本語教育への招待』、pp. 141-157、くろしお出版

Lipman, Matthew (1991) *Thinking in Education*. Cambridge University Press.

- Nystland, Martin (2006) The Social and Historical Context for Writing Research. In MacArthur, Charles A. and Steve Graham, Jill Fitzgerald (ed.) *Handbook of Writing Research*. pp.11-27, Guilford Press.
- Zimmerman, Barry J. (1989) A Social Cognitive View of Self-Regulated Academic Learning. *Journal of Educational Psychology*. 81, pp.329-339
- Zimmerman, Barry J. and Dale H. Schunk (eds.) (2011) *Handbook of Self-Regulation of Learning and Performance*. Routledge. (塚野州一・伊藤崇達 (監訳) (2014) 『自己調整学習ハンドブック』北大路書房)